

上智大学文学部保健体育研究室開講科目
「知としての身体を考える」特別講演

演劇と身体

日本とヨーロッパの伝統演劇を例に

河村 晴久
(観世流能楽師)

2017年10月26日(木)

18:45-20:30

上智大学四谷キャンパス

中央図書館8階L821

使用言語: 日本語
入場無料
事前申し込み不要

【講演者プロフィール】



同志社大学大学院文学研究科修了。
父河村晴夫、伯父河村禎二、叔父河村隆司、および13世林喜右衛門に師事。今までに「猩々乱」「石橋」「道成寺」「安宅勸進帳」「屋島弓流」等を披く。日本能楽会会員。重要無形文化財「能楽」総合認定保持者。能楽協会京都支部常議員、教育特別委員会委員。株式会社能楽舎代表取締役。同志社大学嘱託講師、佛教大学四条センター講師。平成17年度文化庁文化交流使(アメリカに一月半滞在しハーバード大学などで活動)演能のほか、大学での授業、講演、海外での講演活動も多い。平成6年のワシントンでの公演を始め、平成20年にはパリのユネスコ本部で講演、公演するなど、海外での英語による公演は40回を越える。『対訳で楽しむ謡本』(檜書店刊)解説等執筆中。



上智大学ヨーロッパ研究所
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学中央図書館7階 721 B
Tel: 03-3238-3902 E-mail: i-europe@sophia.ac.jp